

長久手市行政評価票

事業番号	1	事業の名称	公共交通利用促進事業	担当部署	部	課
					企画部	企画政策課

事業の目的・概要	(目的) 長久手市地域公共交通総合連携計画の目標「みんなで支える 人と環境にやさしい公共交通」を具現化するため、公共交通の利用促進により、過度に車に依存しないエコモビの推進を図る。 (概要) 長久手市地域公共交通会議にて、利用実態や利用者満足度などを調査・検討し、利便性の高い地域公共交通の展開を図る。また、愛知県とリニモ沿線市との共同で沿線の施設とリニモを使ったイベントを実施したり、リニモウォーキングを実施することで交通手段としてのリニモをPRする。さらに市民目線による公共交通に関するかわら版(タイトル、市民協力者(執筆者)を公募)を発行することで親しみのある公共交通への醸成を図る。また、住民団体の地域づくり活動への支援をすることで、リニモ沿線の活性化を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進・利用者の利便性向上を図るとともに、コミュニティバスにおいては市外へのルートを設置することで広域的な連携を図る市もある。また、民間路線の廃止に伴い、金銭補助や移動手段確保のためにコミュニティバスを導入・拡充している自治体もある。
----------	---	------------------------------------	---

事業期間	事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	移動手段を車から公共交通に、普段公共交通を利用しない人が乗るような利便性の高い公共交通体系の展開。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		2,359	2,327	2,359	2,179	5,422
一般財源		2,359	2,327	2,359	2,179	5,422
国費・県費		0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0
受益者負担額		0	0	0	0	0

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明		
		H24目標値							H24目標値	単位	H25予算	成果	事業費								
①	地域公共交通会議 運営事業	市内外の住民に	●	●	●	●	市内の公共交通機関全般の利便性向上や利用促進について検討し、事業展開すること	住民満足度の高い市内公共交通機関のネットワークを構築する。	会議を3回開催し、Nーバス運行経費補助申請手続やかわら版を発行	公共交通利用者数	リニモ:18,500人 Nーバス:530人 名鉄バス:2,111人 リニモ:19,060人 Nーバス:563人 名鉄バス:2,222人 リニモ:18,150人 Nーバス:495人 名鉄バス:2,464人	人	地域公共交通総合連携計画で目標として定められた数値(H25年度にH20年度比10%UP)	1,734	1,702	1,734	1,554	4,797	会議運営委託1,408千円、委員報酬146千円	A	現行どおり実施していく。事業費については、平成25年度が地域公共交通総合連携計画の最終年にあたり、最終的な評価及び第2次計画の策定のため、会議の開催回数が増加するため増額した。引き続き補助金を得る必要があることから継続する。(参考:国庫補助額H23度43,119,200円、H24度6,008,000円[補助制度の変更による額の減少])
②	リニモ夏休みイベント 開催事業	市内外の住民に	→	→	→	→	夏休みに、リニモとリニモ沿線の施設を活用した中学生以下向けイベント(23回:各定員80~100人)を開催することで	イベントに参加してもらい、その後もリニモを使用して沿線施設を利用してもらう。	23回開催 延参加者数 2,048人	7~8月リニモ利用者数	1,032 1,059 1,093	千人	リニモ利用者数前年同時期実績(7~8月)から6%の増加(過去3年間の毎年の伸びが約6%)	500	500	500	500	負担金500千円(愛知県、名古屋市、瀬戸市、豊田市、日進市で構成する東部丘陵線連絡協議会全体事業費6,700千円)	B	事前申込制で実施しており、人気のコースは倍率が20倍を超えるものもあるため、体験施設の更新を図りながら継続実施する。	
③	リニモウォーキング開催 事業	市内外の住民に	→	→	→	→	年13回リニモの駅等を発着地とするウォーキングを開催することで	魅力あるリニモ沿線施設をPRし、交通手段としてのリニモを知り、利用してもらう。	13回開催 延参加者数 17,800人	ウォーキング参加者数(1回あたり)	1,323 1,369 1,323	人	前年度実績を目標とした	—	—	—	—	—	—	B	参加者の増加が鈍化していることから、参加者を増加させ目標値が達成できるような事業改善を実施する。改善については、事業費をかけない方向で実施する。
④	リニモ沿線地域づくり 活動促進事業	市内外の住民に	→	→	→	→	地域住民や学生等による地域づくり活動によって	リニモを積極的に活用した沿線の地域づくりに取り組むことで、沿線の活性化を図る。	9件応募があり、3件採択	採択後8月から3月までのリニモ利用者	4,104 2,802 4,309	千人	リニモ利用者数前年同時期実績(8月~3月)から5%の増加(過去3年間の毎年の伸びが約5%)	125	125	125	125	負担金125千円(愛知県、瀬戸市、豊田市、日進市で構成するリニモ沿線合同大学祭を初めて開催した。直接の効果が見えないが、事業募集することによる周知等で、期間中のリニモ利用者数は増加している。	B	応募者の活動時期を長くするため、応募時期を若干前倒した。また、この中でリニモ沿線11大学の学生によるリニモ沿線合同大学祭を初めて開催した。直接の効果が見えないが、事業募集することによる周知等で、期間中のリニモ利用者数は増加している。	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	②	リニモ夏休みイベント開催事業	参加者を増やすため、新規立ち寄りスポットの開拓を行う[今年度は愛知ヤクルト(日進市)]。	第2次長久手市公共交通総合連携計画の策定
③	リニモウォーキング開催事業	ウォーキングの利用者を増やすため、立ち寄りスポットの新規開拓を行う[今年度は名鉄バスとのタイアップを行った]。	名鉄バス路線のバスロケーションシステム導入	名鉄バス(株)名古屋営業所管内にて、バスロケーションシステムの導入を行い、利用者の利便性向上を図る。
④	リニモ沿線地域づくり活動促進事業	今年度は、提案事業の中で合同大学祭を実施したが、別枠で支援していく。また、来年度は大学の研究室へリニモ沿線の調査研究を募集し、事業実施する。		